

小學作文全書

文學社編纂

七

235

大日本教育會館		
第六室		
三	冊	號
三	架	函

257
5
370

K110.83

119c

文學社編纂

書小動物植物地理地文經濟生
理等類通回各專門博士或學
士之校訂者姓名表在卷末

小學作文全書

全六十冊

文學社刊行

小學作文全書卷之七上目次

四十題

記事文之部

父母	小學校	地球	動物	植物	忠	生徒
地圖	猿	牡丹	大洋	蝙蝠	葡萄	山
麻	港	象	山葵	川	獅子	柑
海	牛					
槭樹	日本ノ位置	日本ノ地勢	車	人力車		
馬車	君臣	善キ小兒	遠州灘	鎌倉	白山	
鴟鶚	蝮蛇	龜	馬鈴薯	紫草		

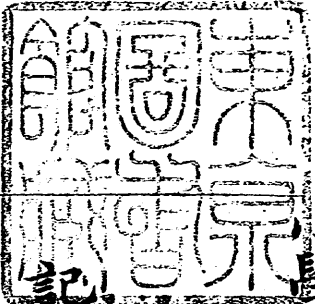
小學作文全書卷之七上目次終



小學作文全書卷之七上



文學社編纂



記事文

教則綱領曰、既學習之事、修身讀書世界地理及自然物、題して學字亦亦作之、理、大要動物植物等

第一

父母

養育ハ吾ヲ生ミテ、養ヒ育テシモノナ
其ノ恩ハ山ヨリモ高ク、海ヨリモ深
シ、子タルモノ、其ノ高恩ニ報ユヘシ、
山岳尚低大海シ
淺高恩ヲ洪恩録

普通ノ學科
肝要ノ緊要
小兒モ童兒
修學カス

山嶽河海
植物ニ生
世界二分
東半球
西半球

生命ヲ生産
動物ニ其首冠
二位ニ并ル

植物モ草苔
時季ニ由リテ
花ヲ著ケ實ヲ結
榮枯時ニ從
紛骨碎身
社稷ノ為メ

小學校

小學校ハ讀書美術其他ノ知ルヘ
キ肝要ノ事ヲ教フル所ナリ小兒六歲
ニナレハ男女トモニ就テ學フヘシ

地球

山アリ川アリテ人間鳥獸虫魚等ノ生
息スル處ヲ地球ト謂フ此ヲ兩分シテ
東半球西半球ト名ク

動物

生命ヲ保チテ自生ラ營ミ植物或ハ他動
物ヲ食ヒテ活動スル者ヲ動物ト云フ人類ハ
其ノ首ナリ禽獸虫魚ノ類之ニ亞ク

植物

松柏米麥草苔皆是ヲ植物ト謂フ其ノ
季節ニ從ヒテ或ハ花ヲ開キ或ハ果ヲ
結ヒ或ハ時ニ枯レ或ハ常ニ榮ユ

忠

心力ヲ盡シテ君ト國トノ爲ニハ我

皇作文全書卷之七上

言行一致
言行誠實
身ヲ危ウシテ上ニ奉
事スル之ヲ忠ト云フ

聽信
服膺
倦怠
諸学科
遵守
規則
違犯セサルヘシ

身ヲ致シテ願ミス、言行誠實ニシテ偽
ナキヲ、忠ト謂フ、

第二

生徒

教師ノ言ヲ聽信シ、書ヲ讀ミ字ヲ習ヒ、
能ク學科ヲ勉強シテ、毫モ倦怠ナク、自
言行ヲ慎ミテ、學校ノ規則ヲ遵守ス
ルハ、良キ生徒ナリ、

地圖

地球係五大洲
亞細亞
亞ノ東部ニ位セル
帝國
地圖ヲ閱シテカ
クニル
詳キ須要ナ
クニル

四手科ノ動物
骨格ニ擬
點知人ニ匹似
熱國ニ體格
ニモギ
模擬

地球ヲ分テ、東半球及西半球ノ二トス、
而シテ我ガ國ハ東半球ノ東邊ニ位ス、
其ノ詳ナルハ、地圖ヲ閱シテ之ヲ知
ルヘシ、地圖ハ萬民須知ノ品ナリ、

猿

猿ハ、四手獸ニシテ、骨格人ニ類セリ、其ノ
性狡黠ナリ、群ヲ成シテ戯レ、游フ、人ノ
所作ニ模擬スルヲ喜フ、熱國ニ多ク産
ス、其ノ種類モ亦多シ、

小學作文全書卷之七上

嬌艶ノ花ヲ着ケテ國
香滿砌愛スヘシ
ハチケイイナイニ花
モニニチチウツシ
師又ハ姚王ト評セリ
ボタチリハ満園ハ瓶盆
クシキナハ瓶盆
サレテ觀賞ス
全富貴トモ

渺茫ニミツヒタル海水上
環繞ノ大別シテ五トス
大洋ニ至ルニ太平洋
アリカト間 大西洋

牡丹

牡丹ハ首夏ニ至リテ豊艶ノ花ヲ開ク
所謂花ノ富貴ナルモノニシテ、百花ノ
王ト稱ス、庭園或ハ瓶盆ニ栽エテ、人之ヲ
觀賞ス、

大洋

大陸ノ外ニ渺茫タル海水アリテ環繞
ス、之ヲ大洋ト名ク、悉ク相連ルト雖、
今之ヲ大別シテ五トス、其中太平洋

最大ナリ、

蝙蝠

小笠原島琉球蝙蝠
蟪蛄好ミテ果實
昆虫等ヲ食ス
ムシハ井ヲシ 能ク空中
ヨロモトス
ヲ飛翔スハ絶大
カキル 巨大上

我が小笠原島及琉球ニ産スル蝙蝠ハ、
大サ猫ノ如ク、又南亞米利加ニ産スル
モノハ絶大ニシテ、人ニ逼リテ血ヲ吸
ヒ、或ハ害ヲ爲スニ至ルト云ス、

葡萄

葡萄ハ其花瘠小
ニシテ恰モ總狀ヲナス
クシキナハ瓶盆
クシキナハ瓶盆
美味ハ酒ヲ製

葡萄ハ細小ナル總狀ノ花ヲ發キ、其ノ
實ハ極メテ甘美ナリ、以テ酒ヲ製スヘシ、

造スルニ可ナリ。佛國ノ名産。甲斐國山梨

我が國ニテハ甲斐國山梨ノ産ヲ最佳
良トス、

山

陸地ノ突起トツキチシ
高卑カウヒノ高低
雲表ウニベニ秀出シウシュツス
煙霧エンモク上シ赭山セツサン
カミ

山ハ陸地ノ突起セルモノニシテ、高卑
大小アリ、其ノ高キモノハ雲表ニ秀出
ス、禽獸ヲ棲マシメ、又能ク草木ヲ生長
ス、其ノ草木ヲ生セサルヲ赭山ト云フ、

第三

虎

電目デンモクイササ
銳爪エツサノ
生獸ヲ攫殺ス

虎ハ猛獸ニシテ、電目銳爪アリテ、獸ヲ
攫殺シテ食トス、一タヒ嘯ケハ山壑

爲ニ震ヒ、百獸其ノ影ヲ望メハ必畏
避スト云フ、我が國ニハ之ヲ産セ

麻

麻及苧麻、之ヲ紡績シ、之ヲ織リテ夏日

ノ衣ヲ製スヘシ、涼ヲ納ル、ハ此ニ若
クモノナシ、其ノ産處多シト雖、越後

苧麻ソウマ紡績イトヒキツルギ
締給ヒツキヲ織ルヘク
苧麻ソウマ苧麻ソウマ苧麻ソウマ
苧麻ソウマ苧麻ソウマ苧麻ソウマ
苧麻ソウマ苧麻ソウマ苧麻ソウマ

出蒙諸產地
越後薩摩最
佳

薩摩ヨリ出ルモノヲ上品トス而シテ
其ノ中精粗數等アリ

港

海水深ク陸地ニ
入ル風濤船船
ノ碇泊ニ便利ナ所
大艦巨
船
檣林ノ如シ

海水陸地ニ斗入シテ船舶風波ノ害ヲ
避クルニ宜シク且上陸ニ便ナル處ヲ
港ト云フ故ニ盛ナル港ニハ帆船汽船
交々往來シテ其ノ港内ニ碇泊セル
檣林ノ如シ

象

體格豊肥
其體擁腫貼耳
重足
鼻端
自由
拾掇
整理

象ハ體格豊肥ニシテ貼耳重足長鼻ヲ
具ス鼻端ニ小指ノ如キモノアリ其ノ
屈伸自由ニシテ微物ト雖凡能ク拾掇
シテ遺スナシ藁ヲ整理シテ食スル
等皆此ノ鼻端ノ働ナリ

山葵

山葵山澗ノ陰地ニ
生ズ溪間ノ濕地ニ
自生
醃酢
漬

山葵ハ山澗ノ陰地ニ自生シ春月梗ヲ
抽テ細小ナル白葩ヲ發ク其ノ莖ハ微
辛ヲ含ム醃酢ニ漬スヘク根ハ辛味烈

魚膾調理ニ
供スルニ
貯藏スル

窪下ヲ流ル水ヲ云フ其
急流止水ヲ流流
源ハ山中或ハ湖
發出ス

シクシテ芬芳アリ以テ魚膾ノ加味ニ
適ス又鹽ニ漬シテ貯フヘシ

川

川ト陸地ノ窪下ヲ流ル水ヲ云フ其
ノ流小ナルモノヲ小川ト云ヒ大ナル
モノヲ大川ト云フ小ヨリ大ニ合シテ
下流終ニ海ニ注クモノナリ而シテ水
ニ清濁緩急ノ不同アリ

獅子

獅子金眸ニシテ玉
體黃褐色ノ
鬚鬃慘然トシテ
猛烈ナル百獸皆懼
レテ狼狽シ餌
ヲ知ラス怒リテ吼
ユルトキハ百獸皆懼
ラサルトキハ沈重ニシテ威嚴アリ

柑

酸甘ニシテ口中
爽快ガキニ能ク
寒氣ニ勝フヨク
點心トシテ下物トシテ

柑ハ白色ナル小花ヲ開キ其果實
小春ニ至リテ黃熟ス味甘中ニ酸味ヲ
帯ヒ且香氣アリテ口中爽快ヲ覺エ點

紀伊出雲

心ニスヘク、亦下物ニスヘレ、紀伊出雲ノ産ヲ最佳トス、

海

大洋ノ分派ニシテ、陸地ニ接シ、百川ノ會同スル處ヲ海ト云フ、其ノ廣大ナル處ニ至リテハ、波濤渺茫トシテ、其ノ際涯ヲ知ラス、魚鹽百物ヲ生シ、人間ノ用ヲ資クルト最大ナリ、

牛

雙角、弛緩ニシテ、多力ナリ、故ニ能ク重任ニ耐ヘ、耕稼ノ用ヲ濟ス、且其ノ肉、及ヒ乳汁ハ、頗ル滋養ノ功アリ、故ニ之ヲ飲喫スレハ、人體ヲシテ健康ナラシム、

槭樹

槭樹ハ、初夏ニ細小ナル花ヲ發シ、果實ハ、兩翼ヲ具ヘテ、蛾ノ如ク、其ノ葉ハ、晩秋ノ候、霜ニ染ム、殷紅、春月ノ花ニ勝レ

牛、頭上ニ雙角ヲ具ス、性弛緩ニシテ、多力ナリ、故ニ能ク重任ニ耐ヘ、耕稼ノ用ヲ濟ス、且其ノ肉、及ヒ乳汁ハ、頗ル滋養ノ功アリ、故ニ之ヲ飲喫スレハ、人體ヲシテ健康ナラシム、

槭樹ハ、初夏ニ細小ナル花ヲ發シ、果實ハ、兩翼ヲ具ヘテ、蛾ノ如ク、其ノ葉ハ、晩秋ノ候、霜ニ染ム、殷紅、春月ノ花ニ勝レ

春月花^{シモノ}花^{トモ}勝^シリ
大和龍田最^シタリ

日本ノ位地

帝國^{テイコク}ノ^ノ綿^{ワタ}且^ナ環^{ワタリ}繞^リ
四境^{シヨウキョウ}東^{トウ}東^{トウ}環^{ワタリ}繞^リ
地質^{チシツ}肥沃^{フイタク}氣候^{クワイ}温^{ユン}和^ワ
温^{ユン}和^ワ往^{ユク}古^コ瑞^{ズイ}穂^ホ
瑞^{ズイ}穂^ホノ^ノ國^{クニ}魚^{イサ}鹽^{シホ}ノ^ノ利^リ

我^ガ日本^{ニッポン}帝國^{テイコク}ハ亞細亞洲^{アジヤ}ノ東部^{トウブ}ニ在^リリ
綿^{ワタ}且^ナ五百餘里^{イハヤヒ}海水^{カイスイ}四境^{シヨウキョウ}ヲ環繞^{ワタリ}ス國
土^{ツチ}大^{オホ}ナラスト雖^モ氏^{ウヂ}地味^{チミ}沃饒^{ワクニウ}氣候^{クワイ}温^{ユン}和^ワ
シテ能^スク五穀^{イハヒ}ヲ生^スス故^ニ往^{ユク}古^コ瑞^{ズイ}穂^ホノ
國^{クニ}ト稱^スセリ而^{シテ}魚^{イサ}鹽^{シホ}ノ利^リモ亦^モ多^クシ

日本ノ地勢

古^コ來^キ畿^キ内^{ナイ}七^{シチ}道^{ドウ}開^{カイ}拓^{タク}
後^{ノチ}王^{オウ}政^{テイ}復^{フク}
古^コ上^{カミ}

我^ガ國^{クニ}ハ古^コ來^キ畿^キ内^{ナイ}七^{シチ}道^{ドウ}ニ別^{ワケ}テリ明^{メイ}
治^チ維^イ新^{シン}以^テ後^{ノチ}蝦夷^{セマイ}ヲ開拓^{カイタク}シテ北^{キタ}海^{カイ}道^{ドウ}ト
名^ナツク是^レニ至^リテ始^メテ八^{ハチ}道^{ドウ}トナル
先^マノ七^{シチ}道^{ドウ}トハ即^チ東^{トウ}海^{カイ}東^{トウ}山^{サン}陽^{ヤウ}山^{サン}陰^{イン}
北^{キタ}陸^{リク}南^{ナン}海^{カイ}西^{セイ}海^{カイ}道^{ドウ}是^レナリ

車

牛^{ウシ}車^{クルマ}ハ重^{オモシ}荷^カヲ
遠^{トホ}キニ輪^{リン}シテ馬^{ウマ}
車^{クルマ}ハ乘^{ノリ}客^{キヤク}ヲ許^{ヨク}多^ク
乘^{ノリ}セテ急^{キウ}駛^シハ
要^{ヨウ}ニ運^{ウン}轉^{テン}ス

車^{クルマ}ニ數^{スベテ}種^{シユ}アリ牛^{ウシ}車^{クルマ}ハ牛^{ウシ}挽^{ヒキ}キ馬^{ウマ}車^{クルマ}ハ馬^{ウマ}
挽^{ヒキ}キ人^{ヒト}力^{リキ}車^{クルマ}荷^カ車^{クルマ}ハ人^{ヒト}之^ノヲ挽^{ヒキ}キ汽^キ車^{クルマ}ハ
蒸^{セイ}氣^キノ力^{リキ}ニ資^{ツク}テ轍^{ワグ}道^{ドウ}ヲ駛^シ走^スス總^{ソウ}テ運^{ウン}

ク轆クワト興キョウシカ
車クルマ荷カ車クルマ人ヒト之ノ挽ヒキ
キテ簡カン便ベンラ主ヌシト
シ流リウ車クルマハ時トキ間カン敷シ
里リ駛シ走ソウルカス。

吾邦ノ發明ヘイメイ銀ギン久キウ
輕ケイ便ベン挽ヒキ夫フ壯ソウ
健ケンシ壯ソウ敏ミン馬バ車クルマ
二讓ニジョウラスハ其シ駿ケン
速ソクナル馬バ車クルマモ時トキト
ノハ歩イロヲ避ヒククト云イハレ
キイニヤ 新シン奇キ
キイニヤ 新シン奇キ
珍チン美メイヲ贊サン稱ショウハス

轉テンスルモノハ輪リンニシテ、轆クワハ挽ヒキ之ノ具グ輿ウ
ハ人ヒトノ乘ノリスル所トコロナリ、

人力車

人力車ハ近來吾邦ノ發明スル所ニシ
テ、形ハ小ナル馬車ノ如シ、人其ノ輕
便ナルヲ愛ス、挽夫壯健ナレハ其ノ速
ナルヲ、馬車ニ讓ラス、西洋人モ其
ノ發明ノ新奇ヲ稱美スト云フ、

馬車

二輪ニリント輪リンヲ勞ロウ
カラ省セウクワテケク五
彩サイニ裝ソウ置チスル上
觀カン美メイヲ極キョクムキイテ
觀望カンバウ驚オドロク目メ上ノ高タカク
貴キノ人ヒトニ貴キ顯ケン
久キウ上ノ顯ケン達タク公コウ上ノ

馬車ニ二輪ナルモノアリ、四輪ナルモノ
アリ、四輪ナルハ大ニ馬ノ勞力ヲ省
久故ニ二輪ナルハ少シ、五彩ニ裝ヒ
テ觀ノ美ヲ極メタルモノアリ、高貴ノ人
多ク之ニ乗ル、

課題

君臣 善キ小兒 遠州灘 鎌倉 白
山 鳴鶴 蝮蛇 龜 馬鈴薯 紫州

菱潭書



小學作文全書卷之七上終

小學作文全書卷之七下目次

四十題

日用書類之部 附 諸券公用文

- 招を辞する文 ○東照宮へ系指に誘ふ文 ○為替金券を送る文 ○法帖を見せに人を招く文 ○煙火主人を招待する文
- 病中友人へ寄せる文 ○刈り上げ餅を贈る文 ○舎合ひ振かれしを断る文 ○旅中宿屋を頼む文 ○拾物の届方を問合する文 ○盆栽の系指を贈る文 ○掛物を貸す文 ○際物を頼む文 ○雇人の周旋を頼む文 ○拙者小人を誘ふ文 ○菓子紙出港の形を見る文 ○新菰の物の賣掛を頼む文

雨を乞ふ文○遠方の親戚小豊他を告る文○田植小作傳
 を頼む文○肥料を配ふる文○後習舎を借す文○開業
 届○寄留届○寄留換届○小學入校願○送籍料○賣
 品又小製造品代受取書○預り金之証○小他之証○蒸氣
 出車の時限を問ふ文○回返事○芝居見物小友を誘
 ふ文○管將小誘をれ返事○雨具を借りに借す文
 ○回返事○地面借用を問合す文○回返事○角力
 見物を促す文○移轉の際人を招く文

小學作文全書卷之七下目次終

小學作文全書卷之七下

文學社編纂

日用書類 (教則綱領前續)

第一

○招を辭まる文

招は預りも受取は試験ありて
 招は預りも受取は試験ありて

御遊生ゴトウシヨウの御返
 辰吟態チンインの招
 預りヨカリの預罷招
 預項日ヨカリヒの友人

親友に打寄
復習會
由断

法祭禮
上開能
意
余弟

友人打寄復習會致一唐骨
法中一不忽思在下きく也

○東照宮系指に誘ふ文
来る十七日は東照宮祭礼付
系拜致一古同きにはは
古儀致一度依る余弟は
可古答申納中は也

過日
貴命
檢差
紙多
引換
日外
依頼
刻
法帖

過日仰越
貴命銀行為
檢差送別
紙多為換券
引換法落掌
日外在月
依頼活唐
刻和刻
法帖取寄

過日仰越されいす國の儀貴
命の如く何る國銀行為換を以て
差申一は官別紙の換券引換に
法帖取寄され及も

○法帖を刃世に人を招く文
日外依頼之ある唐刻法
帖四五帖を寄せ置るる
思ふもいり高二百中に法帖

若由來覽報
如ヒラ中審定ヨシ
ケル

近頃先般英國
帰朝ハ洋國

彼國ニ傳テハ
傳得オホト
小家ニ試發

武驗上ニ家族
家内中連中
ト來臨

而三日以前

微恙感冒打
卧平臥子使然
困退校
内閣暇由來車
此段同上

兎角晴難
雨ア何カ心遣
羅在別條春進
呈御下

下され度右吉報知中云也

○煙火に人を招待する文
ハナヒ

近頃西海より物物致し友人

彼國より致し傳得致し煙火を

明夕拙郎に致し武藝致し

古家族より連中先來し招待云也

○病中友人に書する文

南云の若より微恙の爲お外

居るや世に候し居るも之云く

後此より困み居る由退校後

此來車下さる由致し此段同也

○刈り上げ餅を贈る文

此年中は兎角自らで務にて出水

も計り難く何か心配致し先

別條より獲り上げ付心祝

春は餅を重直上致し也

會合に招かれを對する文
會合臨會
通知報知
打取平卧
殘懷遺憾
也斷

拙者多小子
明朝發
發途京都往

會合に招かれを對する文
今も余會致す（さ旨古通
知下されれや時朝より風物
して平卧死生い百黄遺憾あり
ら比似古對中一旨自し持

○旅中留まを頼む文

拙者候の朝發是京都往
往復凡三十日留し見返しては

復往返に何
辛留守由心
添心也頼

拙者留何辛留中
古心添来下され度頼上小也

○拾物の届方を問合する文

昨夜前宵上親
戚往歸宅送帰
盧途煙草入拾
得法教示
示諭也

昨夜親戚へは拙十三町以場電
の際何町の角にて煙草入拾
乍爾右届方一向承知致さ候
間何辛留必取示お教也

○盆栽の草花を贈る文

盆栽の草花を贈る文

此頃近頃西洋
 泰西上老人
 此頃近頃西洋
 慰活替散
 盆貴賤
 古笑觀
 愛觀
 物軸物
 後々
 閣覽

此頃近頃西洋の老翁
 八五言活老人様の古殿
 古笑観下され度也
 掛物を貸す文
 活望に任せ掛物二幅古使
 附く差し中決して古の置か
 く後々古後束さるく活用

古用途
 本懐
 不悉
 氏神産土神祭
 禮祀
 供等小児着せ
 度着用
 違却
 願
 弊店
 賣子行商

お成りの本懐を古座か
 染物を頼む文
 束さる幾々の氏神祭
 等へ着せ度る古及物の紙
 活文書通り幾の古に古違か
 古染上下され度古紙
 雇人の周縁を頼む文
 弊店古度古子古出度に付

確乎カ備入ル
周旋セシ中世活
上依頼トク依
囑上

ニチエヤビ。放課日
日曜日。放課日
談。好天氣。和
煦。多。踏。青。草。散
歩。中。閑。隙。中
閑暇。中。同伴
遊。行。上。

コヘンカン
返簡
新島出帆。發
港上。漁船。キセン
日限。荷造。發
荷上。承知。承
認。上。憚。作。中。面
倒。早速。ハヤ。大急
報知セラ。

劣生多。陋生上。

何業も何業との内子元燈ある
者古産も乃を雇入度依る活
周旋の程古依頼仕也

○摘羊に人を誘ふ文

何のい回曜日に付至意も且後
乃の某邊へ摘羊に系り度
差したる古用も古産なく乃
古回と致し度古返す侍也

○蒸氣船出港と船を尋る文

本月中新島向け出帆お成へ
き汽船の限何の頃お成
承知致し度候者より早速此報
知致し也

第二

○新發明物の賣捌を頼む文

劣生俄頃。此品賣的製造の

茂明ハ製造製造
製作上試簡便
至便上利潤
利徳上鶴益
効能書能書
上賣私中公賣

先頃此間中
早更に濡りも
折角心痛行膏
雨ア大遠景
氣は同喜ヨロシ

同慶上

本年ト風雨多
順當ト寒暄
米支ト其他
物雜穀ト田
畑作物ト豊作
豊稔ト
弊村ト景氣ト吉
左右ト鳥渡

上試を交す極管便し之利
淫少なるは依り効能も亦添
先を百個交す上買を百に量
弘し程取す也

○二目を養ふ文

先頃より餘り晴き續き山左折
角種附在稲苗も如何と案
左折柄吐物なり此言自りそ

家に茶葉好くお茶の旨さ同
熟ふなる也

○遠方の親戚、豊作を告ぐる文

本年ハ風雨も順當と米支を
始め其他雜穀も亦豊作
し其材料も大に景氣好し
右吉右右なる後此報知す也

昨日夕エキカフ膏雨
水都合宜敷
称植付也多忙
兼忍縮下婢
下僕等中雨
三名多リサ
田作一層手

廣肥料其れ
小準ヲ用テ
多分ヲ入用
干鰯油糟何十
俵中甸口送
致ル願上
逐日試定期試
業相迫り同窓
友夜學會同
感

○田植に
昨より此膏雨より水が合
宜敷天付のは添植付致
度古多中忍縮の多り
其古使し作男多し人
下
○肥料を測ふる文
本年の稲化向一層手廣く致

度就ては肥料も稍多し入用
古座付干鰯三拾俵末月
中甸口に送致下され度
致ル願上
○復習會を催す文
追々定期試験にお迫りまされ
学友有之名お集りて會より
復習會お催し

復習會 フシブシブ サライ。

これありてはもて出出席下は是
度は拜

證券印稅略則

第一類

左ニ掲クル所

ノ證書帳簿ハ

金高ノ有無多

寡ニ拘ラス下

ニ定ムル所ノ

印紙ヲ貼用ス

諸券公用文

○開業済届 クワイダテ 度業届 イダテ 例ニヨル

何郡何村何番地

明治何年何月何日開業
何高賣

何之誰

右開業仕下開此段済届申上候也

年月日

何之誰 (印)

何郡長 何村戸長 何之誰殿 以下同宛名ノ届
書ハ宛名ヲ略ス

但宛名各府縣委任ノ大小ニヨリテ不同ナルガ故暫ク本文如ク
記セリ宜シク實際ニ適應セシコトヲ希望ス

○寄留済届

何郡何村何番地寄留

原籍何縣何國何郡何村何番地

族籍

何之誰 何年何月何日出生

右済届申上候也

年月日

何之誰 (印)

但借家者ニテ戶籍ニ關スル願届書類ハ總テ家主又ハ
差配人ノ加判ヲ要ス以下之ニ依テ

- ハレ
- 一 當座預リ金
- 引出小切手
- 一 委任状
- 右ハ印稅五厘
- 一 金高記載ナ
- ト約定証文
- 一 遺物証文
- 一 跡式讓証文
- 一 讓與証文
- 一 期限ヲ定メ

○寄留換所届

何郡何村何番地寄留

原籍何郡何村何番地

族籍

何之誰

妻 誰

右者是迄前記之通寄留罷在在是今

般何郡何村何番地(寄留替仕當此般

居届)之也

右

何之誰 (印)

年月

- 一 預リ証文
- 一 耕地小作証文
- 一 雇人請合状
- 一 金高記載ナ
- 一 諸物品預リ
- 証文
- 一 金高記載ナ
- 一 諸物品借用
- 証文
- 一 諸物品切手

○小學入校所願

何郡何村何番地

族籍何之誰何男女

何之誰

年月日生

右今般入校相願作之通規則

堅ク相守ラセ申ス可ク候也

族籍

何之誰 (印)

証人

任所

某學校済中

年月

- 一 借地証文
- 一 借家証文
- 一 膏買仕切書
- 一 保險証文
- 一 諸會社株券
- 一 送金手形
- 右等ハ都テ一
- 錢印紙ヲ貼用
- スヘシ
- 一 金 錢 通帳
- 一 諸物品
- 右ハ一ケ年一
- 冊ニ付

印税一錢

一金錢判取帳
諸物品

右ハ一ヶ年一

冊ニ付

印税二十錢

一結社約定書

印税一錢

但シ結社約定

書ニ金田授受

貸借ニ係ル條

項アリテ之カ

効力ヲ確定ス

ル証書帳簿ハ

余高記載ナシ

ト雖非第ニ類

金高記載アル

諸般ノ契約証

書ニ准レ印紙

ヲ貼用スヘシ

一營業ニ関ス

ル送状

○送籍所願

何郡何村何番地

族籍

何之誰

身家族何人

右今般何郡何村何番地移轉仕

間送籍成下サレ度願ス也

年月日

何之誰 (印)

何郡長又ハ何村戸長何之誰殿

○賣品又ハ製造品代受取書

記

一金何百何拾圓也 何之誰殿 賣品又ハ製造

右代價正之發掌仕也

年月日

何之誰 (印)

住所

何之誰様 以下宛名

○預り金之証

一金何百圓也 但無利息

右之金圓又ハ封筒預り中ハ又ハ

正也尤使用致サル約定之付券入圓之

一營業ニ関ス
ル請取書

右ノ証書ハ金

高五圓以上ノ

モノニ限リ一

錢ノ印紙ヲ貼

用スヘシ

右諸証書ヲ通

帳トナストキ

ハ都テ一年以

内一圓ニ付一

第ハ何時ニテモ此証券ト引換シ得渡
申シテ後日ノ為預リ證件トシ
クニ候也

年月日

預主

何之権印

族籍

族籍

証人

何之権印

住所

○小作之証

何國何郡何村字何々

一耕地何反何畝何歩

此小作幾々何年何俵何斗

或ハ金何程

右貴殿所持地本年何月ヨリ向何

々年間即来レ何年何月ヨリ小生引續

定面小他段ニテ法約定ニ然ルモ定

也然ル上モ地租其他諸入費等貴殿所

名前ヲ以テ小生ヨリ相納メ且前書ニ極

々米麦ハ此處凶ニ拍ラス毎年何月限り

此度相納申ヘク作萬一遲滞トシテハ

錢印紙ヲ貼用

スヘシ

第二類

左ニ掲クル所

ノ證書ハ金高

ノ多寡ニ隨ヒ

下ニ定ムル所

ノ割合ヲ以テ

印紙ヲ貼用ス

ヘシ

但シ為替手

形約束手形
ハ手形用紙
ヲ用フヘシ

保証人引受辨償致スヘク候仍る小作
证件ノ如クニ候也

一金銭借用証

年月日

小作人 何族籍之住所 誰印

文

一 地所賣買証

族籍

証人 何住所之住所 誰印

文

一金高記載

ル諸物品預リ

課題

一金高記載

蓋氣出車の制限を同ふ文。同返り。是
居見に友を誘ふ。此將に誘われ返り。

ル諸物品借用

証文

兩具を借りに遠す文。同返り。地面借用
を同合す文。同返り。角力見物を貸す
文。移轉と他人を招く文

証文

一金銭定期預

リ証文

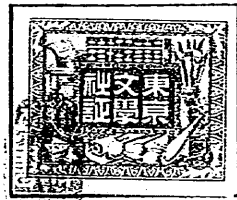
小學作文全書卷之七下

著者 櫻井 聖

小學作文全書卷之七下終

明治十六年四月十日版權免許
同 十六年十二月二十五日校正御届
同 二十年六月二十八日再版御届

定價拾貳錢



編纂無
出版

文學社

東京日本橋區本町
四丁目十六番地